

. 16 カ国の国別の記号

国際的な楽譜点訳規約では、プラス、マイナス、斜線、小文字、大文字、イタリック体、特殊な文字記号を表す場合には、点訳を作成する国のものを使用する。

ここでは、16カ国の国別の記号を記した。

また、アクセントの付いた文字を使用している国に関しては、これらが声楽の歌詞や文献を読む際に見受けられることがある為、その点字記号を記した。

読む手助けとしてのみ記号を示してあり、点訳する上での規則は書いていない。ロシア語のいくつかの記号は記したが、キリル文字や日本語文字を記すことは出来なかった。

以下の国は、アルファベット順に並んでいる。

オーストラリア

ブラジル

チェコ共和国

デンマーク

フィンランド

フランスとスイス（フランス語）

ドイツとスイス（ドイツ語）

イタリアとスイス（イタリア語）

オランダ

北アメリカ（カナダとアメリカ合衆国）

ポーランド

ロシア

スペイン

イギリス

オーストラリアの記号

⠠⠠	+	プラス
⠠⠠	-	マイナス
⠠	/	斜線
⠠⠠	*	アスタリスク
⠠⠠⠠⠠	8'	オルガン音楽での8' (8フィート)
⠠⠠	D	大文字の D
⠠⠠	d	イタリック体の d
⠠⠠	d	文字符を伴った d

4の点は不特定の外国語アクセントに使用する。(訳注：アクセントを使用していない国において、どのようなものでもアクセントの付いた文字すべてを「不特定の外国語アクセント」と言う言葉で表した)

ブラジルの記号

⠠	+	プラス
⠠	-	マイナス
⠠	/	斜線
⠠⠠⠠	D	大文字の D
⠠⠠	d	イタリック体の d
⠠⠠	d	文字符を伴った d

アクセント付きの文字

⠠⠠	á	鋭アクセント
⠠⠠	é	鋭アクセント
⠠	í	鋭アクセント
⠠⠠	ó	鋭アクセント
⠠⠠	ú	鋭アクセント
⠠	â	曲折アクセント
⠠	ê	曲折アクセント
⠠⠠	ô	曲折アクセント
⠠	à	低アクセント
⠠	ã	ティルド (鼻母音化記号)
⠠	õ	ティルド
⠠	ü	分音符、ウムラウト

チェコ共和国の記号

⠠	+	プラス
⠠	-	マイナス
⠠	/	斜線
⠠	*	アスタリスク
⠠⠠	あるいは ⠠⠠	大文字の D
⠠⠠		文字符を伴った d

アクセント付きの文字

⠠	á	鋭アクセント
⠠	č	楔形
⠠	d'	アポストロフィ
⠠	é	鋭アクセント
⠠	ě	楔形
⠠	í	鋭アクセント
⠠	ň	楔形
⠠	ó	鋭アクセント
⠠	ř	楔形
⠠	š	楔形
⠠	t'	アポストロフィ
⠠	ú	鋭音アクセント
⠠	ů	上部に丸印
⠠	ý	鋭アクセント
⠠	ž	楔形

デンマークの記号

⠠	+	プラス
⠠	-	マイナス
⠠	/	斜線
⠠⠠⠠	*	アスタリスク
⠠⠠⠠	オルガン音楽での 8'	“フィート”
⠠⠠		大文字の D
⠠⠠		小文字の d
⠠⠠⠠		イタリック体の <i>d</i>
⠠⠠		文字符を伴った d

アクセント付きの文字

ほとんどのアクセント付きの文字は、5の点を前に付けて書かれる。

例：☛☛ ☛☛ ä á 低アクセントあるいは鋭アクセント

例外

☛☛ ä æ 分音符、ウムラウト、ae 二重母音

☛☛ ö ø 分音符、ウムラウト、oe 二重母音

☛☛ å 上部に丸印

コード記号は、アメリカの記号を使用

フィンランドの記号

☛☛ + プラス

☛☛ - マイナス

☛☛ / 斜線

☛☛☛☛ 大文字の D

☛☛☛☛ イタリック体の d

☛☛☛☛ 文字符を伴った d

アクセント付きの文字

☛☛ ä ウムラウト、分音符

☛☛ å 上部に丸印

☛☛ ö ウムラウト、分音符

☛☛ 4・5の点は不特定の外国語アクセントに使用する。

フランスとスイスの記号 (フランス語)

☛☛ + プラス

☛☛ - マイナス

☛☛ / 斜線

☛☛☛☛ オルガン音楽での 8' (8フィート)

☛☛☛☛ 大文字の D

☛☛☛☛ イタリック体の d

アクセント付きの文字

⋮	à	低アクセント
⋮	â	曲折アクセント
⋮	é	鋭アクセント
⋮	è	低アクセント
⋮	ê	曲折アクセント
⋮	ë	分音符、ウムラウト
⋮	î	曲折アクセント
⋮	ï	分音符、ウムラウト
⋮	ì	低アクセント
⋮	ò	低アクセント
⋮	ô	曲折アクセント
⋮	ù	低アクセント
⋮	û	曲折アクセント
⋮	ü	分音符、ウムラウト
⋮	ç	セディーユ
⋮	œ	oe 二重母音

ドイツとスイスの記号（ドイツ語）

⋮ ⋮	+	プラス
⋮ ⋮	-	マイナス
⋮ ⋮	/	斜線
⋮		文の句点、省略の点、楽譜でのアポストロフィ
⋮ ⋮ ⋮		オルガン音楽での 8'（8フィート）
⋮ ⋮		大文字の D
⋮ ⋮		イタリック体の <i>d</i>
⋮ ⋮		文字符を伴った d

アクセント付きの文字

⋮	ä	ウムラウト、分音符
⋮	ö	ウムラウト、分音符
⋮	ü	ウムラウト、分音符
⋮		4の点は不特定の外国語アクセントに使用する

“プラス”と“マイナス”の記号は、4の点か5の点を前につける場合もある。言葉のアポストロフィは6の点であるが、楽譜では上記のように3の点を使う。大文字が続いている時は、4・5の点を付ける。BWVは $\cdot\cdot\cdot\cdot$ となる。

イタリアとスイスの記号 (イタリア語)

$\cdot\cdot$	+ プラス
$\cdot\cdot$	- マイナス
$\cdot\cdot$	/ 斜線
$\cdot\cdot\cdot\cdot$	オルガン音楽での8' (8フィート)
$\cdot\cdot$	大文字の D
$\cdot\cdot$	イタリック体の <i>d</i>

アクセント付きの文字

$\cdot\cdot$	à 低アクセント
$\cdot\cdot$	è 低アクセント
$\cdot\cdot$	é 鋭アクセント
$\cdot\cdot$	ì 低アクセント
$\cdot\cdot$	ò 低アクセント
$\cdot\cdot$	ù 低アクセント

オランダの記号

$\cdot\cdot$	+ プラス
$\cdot\cdot$	- マイナス
$\cdot\cdot$	/ 斜線
$\cdot\cdot$	* アスタリスク
$\cdot\cdot\cdot\cdot$	オルガン音楽での8' (8フィート)
$\cdot\cdot$	大文字の D
$\cdot\cdot$	イタリック体の <i>d</i>

アクセント付きの文字

$\cdot\cdot$	ä 分音符、ウムラウト
$\cdot\cdot$	à 低アクセント
$\cdot\cdot$	â 曲折アクセント

⠠	ë	分音符、ウムラウト
⠠	è	低アクセント
⠠	é	鋭アクセント
⠠	Ö	分音符、ウムラウト
⠠	ò	低アクセント
⠠	ô	曲折アクセント
⠠	ï	分音符、ウムラウト
⠠	î	曲折アクセント
⠠	û	分音符、ウムラウト
⠠	ù	低アクセント
⠠	û	曲折アクセント
⠠	ç	セディーユ

北アメリカの記号（カナダおよびアメリカ合衆国）

⠠	+	プラス			
⠠	-	マイナス			
⠠	/	斜線			
⠠	*	アスタリスク			
⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	オルガン音楽での 8'（8フィート）
⠠	D	大文字の D			
⠠	<i>d</i>	イタリック体の <i>d</i>			
⠠	<i>d</i>	文字符を伴った <i>d</i>			
⠠		4の点は不特定の外国語アクセントに使用			

ポーランドの記号

⠠	+	プラス			
⠠	-	マイナス			
⠠	/	斜線			
⠠	*	アスタリスク			
⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	オルガン音楽での 8'（8フィート）
⠠	D	大文字の D			
⠠	d	小文字の d			
⠠	<i>d</i>	イタリック体の <i>d</i>			

アクセント付きの文字

∴	ą	ポーランド語の鉤
∴	ć	鋭アクセント
∴	ę	ポーランド語の鉤
∴	ł	短い斜線の入った l の字
∴	ń	鋭アクセント
∴	ó	鋭アクセント
∴	ś	鋭アクセント
∴	ż	上部に点
∴	ź	鋭アクセント

ロシアの記号

∴		+	プラス
∴		-	マイナス
∴ ∴			大文字の T
∴ ∴	∴ ∴	()	丸カッコ
∴ ∴	∴ ∴	[]	角カッコ

スペインの記号

∴	+	プラス
∴	-	マイナス

アクセント付きの文字

∴	á	鋭アクセント
∴	é	鋭アクセント
∴	í	鋭アクセント
∴	ó	鋭アクセント
∴	ú	鋭アクセント
∴	ü	分音符、ウムラウト
∴	ñ	ティルデ

イギリスの記号

⠠⠆	+	プラス
⠠⠐	-	マイナス
⠠⠆	=	イコール
⠠⠇	/	斜線
⠠⠠⠠⠠⠠⠠	8'	オルガン音楽での8'（8フィート）
⠠⠠	D	大文字の D
⠠⠠	<i>d</i>	イタリック体の <i>d</i>
⠠⠠	d	文字符を伴った d
⠠	4	4の点は不特定の外国語アクセントに使用